

32 米穀年度別需給見通し

平成14・15米穀年度の主食用等の需給見通し

(単位：万トン)

		全体需給	計 画 流 通 米		
			自主流通米	政 府 米	合 計
13	13年10月末持越在庫量 A	213	37	176	213
14 米 穀 年 度	13年産米生産量 B	881			
	うち計画出荷量		446	11	457
	生産オーバー分の配合飼料用処理 C	▲ 11		▲ 11	▲ 11
	供給量計 D	1,083	483	176	659
	(D = A + B + C)				
	需 要 量 E	900	456	20	476
	14年10月末持越在庫量 F	183	27	156	183
	(F = D - E)	(±10)			(±10)
15 米 穀 年 度	14年産米生産量 G	876			
	うち計画出荷量		438	15	453
	供給量計 H	1,059	465	171	636
	(H = F + G)				
	需 要 量 I	900	449	28	477
	15年10月末持越在庫量 J	159	16	143	159
	(J = H - I)	(±10)			(±10)

注1) 「14年10月末持越在庫量及び15年10月末持越在庫量」欄の(±10)は、米穀の生産・流通・消費の各段階で見通しに変動が生じた場合に想定される持越在庫量の増減を示したものである。

2) 生産量及び自主流通米の出荷量は、加工用米の生産予定数量(平成13年産・14年産とも24万トン)を除いた数量であり、14年産米生産量には陸稲の生産量を含む。

3) 主食用等需要量は、主食用のほか、自主流通米で供給されている酒造用及びもち米である。

4) 平成14年産米の政府買入数量15万トンは、平成14米穀年度の政府米販売が20万トンとなることを前提とするものであり、実際の販売が計画未達となった場合の実際の買入数量は、15万トンから販売計画未達数量を控除した数量とする。

平成14・15米穀年度の加工用等の需給見通し

(単位：万トン)

		全体需給	計 画 流 通 米		
			自主流通米	政 府 米	合 計
13	13年10月末持越在庫量 A	10	0	10	10
14 米 穀 年 度	13年産米生産量 B	24			
	うち計画出荷量		24	0	24
	外国産米 C	77		77	77
	供給量計 D	111	24	87	111
	(D = A + B + C)				
	加工用等需要量 E	101	24	77	101
	14年10月末持越在庫量 F	10	0	10	10
	(F = D - E)				
15 米 穀 年 度	14年産米生産量 G	24			
	うち計画出荷量		24	0	24
	外国産米 H	77	0	77	77
	供給量計 I	111	24	87	111
	(I = F + G + H)				
	加工用等需要量 J	101	24	77	101
	15年10月末持越在庫量 K	10	0	10	10
	(K = I - J)				

注1) 13年10月末持越在庫量10万トンのほか、次のものがある。

2) 加工用等需要量は、加工用、輸入米粉調製品等代替、新規用途及び国際機関、食糧不足国等からの要請に応じ用いられる援助用等である。

3) 15米穀年度の外国産米の数量は、現行のWTO農業協定に基づき実施期間の最終年度のミニマム・アクセス数量としている。

飼料用備蓄	25万トン
援助用備蓄	40万トン
合 計	65万トン